

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名（商品名）	ホクサンベジホン乳剤
会社名	ホクサン株式会社
住所	〒061-1111 北海道北広島市北の里 27 番地 4
担当部門	農業科学研究所
TEL	011-370-2103
FAX 番号	011-370-2070
緊急連絡先	営業部 業務課
TEL	011-370-2333
e-mail	gyoumuka@hokusan-kk.jp
推奨用途及び使用上の制限	農薬
整理番号	22630-1

## 2. 危険有害性の要約

**【GHS 分類】**

物理化学的危険性	引火性液体	区分 3
	自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分 3
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分 4
	皮膚腐食性・刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分 2
	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	区分 1
	特定標的臓器毒性・全身毒性 （単回ばく露）	区分 1（肝臓、腎臓、神経系、呼吸器系） 区分 3（麻酔作用）
特定標的臓器毒性・全身毒性 （反復ばく露）	区分 1（神経系、呼吸器系、リンパ系、骨） 区分 2（血液、肝臓、副腎、脾臓）	
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分 1
	水生環境慢性有害性	区分 1

\*ここに記載のない項目は分類対象外か分類できない。

**【GHS ラベル要素】**

絵表示又はシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	引火性液体及び蒸気 (H226) 飲み込むと有毒 (H301) 吸入すると有害 (H332) 皮膚刺激 (H315)



		強い眼刺激 (H319)
		アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
		遺伝性疾患のおそれの疑い (H341)
		発がんのおそれの疑い (H351)
		生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (H360)
		肝臓、腎臓、神経系、呼吸器系の障害 (H370)
		眠気又はめまいのおそれ (H336)
		長期にわたる、または反復ばく露による神経系、呼吸器系、リンパ系、骨の障害 (H372)
		長期にわたる、または反復ばく露による血液、肝臓、副腎、脾臓の障害のおそれ (H373)
		水生生物に非常に強い毒性 (H400)
		長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性 (H410)
注意書き	安全対策	子供の手の届かないところに置くこと。(P102)
		使用前にラベルをよく読むこと。(P103)
		使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
		すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
		この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
		屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
		容器を密閉しておくこと。(P233)
		熱／火花／裸火／高温表面／静電気放電から遠ざけること。一禁煙。(P210)
		静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)
		容器を接地すること／アースをとること。(P240)
		防爆型の電気機器／換気装置／照明設備／装置を使用すること。(P241)
		火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
		粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
		環境への放出を避けること。(P273)
		汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
		取扱後は顔と手をよく洗うこと。(P264)
		指定された個人用保護具を使用すること。(P281)
		保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
応急措置		火災の場合：消火には、適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)
		漏出物を回収すること。(P391)
		口をすすぐこと。(P330)
		皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
		皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。(P302+P352)
		眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
		吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
		飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
		ばく露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P309+P311)
		皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。(P333+P313)
		眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。(P337+P313)
		ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。(P308+P313)
		気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。(P314)
		特別な処置が必要である。（「4. 応急措置」参照）。(P321)
		汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。(P363)
保管		容器を密閉して、換気の良い涼しい場所で施錠して保管すること。(P233+P403+P235+P405)



廃棄 国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って、内容物／容器を適切に廃棄すること。  
(P501)

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物  
農薬の種類名 ジメトエート・フェンバレレート乳剤

化学名又は一般名	<i>O, O</i> -ジメチル-S-( <i>N</i> -メチルカルバモイルメチル)ジチオホスフェート (一般名：ジメトエート)	( <i>RS</i> )- $\alpha$ -シアノ-3-フェノキシベンジル=( <i>RS</i> )-2-(4-クロロフェニル)-3-メチルブタノアート (一般名：フェンバレレート)	有機溶剤、界面活性剤等
化学式	$C_8H_{12}O_3NPS_2$	$C_{23}H_{22}ClNO_3$	—
含有率	15.0%	10.0%	75.0%
CAS No.	60-51-5	51630-58-1	非開示
官報公示整理番号			
化審法	(2)-1962	非該当	非開示
安衛法	(2)-1962	4-(7)-330	非開示

危険有害成分

化学名又は一般名	ジメトエート	フェンバレレート	エチルベンゼン	キシレン
含有率	15.0%	10.0%	22%以下	22%以下
CAS No.	60-51-5	51630-58-1	100-41-4	1330-20-7
労働安全衛生法 表示・通知対象物質	非該当	非該当	70号	136号
PRTR法	1-198号	非該当	1-53号	1-80号
毒劇法	該当	該当	非該当	該当*

化学名又は一般名	シクロヘキサノン	トルエン	ポリオキシエチレン ニルフェニルエーテル
含有率	20%以下	0.1%以下	1.4%以下
CAS No.	108-94-1	108-88-3	9016-45-9
労働安全衛生法 表示・通知対象物質	231号	407号	非該当
PRTR法	非該当	1-300号*	1-410号
毒劇法	非該当	該当*	非該当

\*成分としては該当するが、製品中の濃度より製品としては該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。  
呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行う。



- 口対口法を用いてはならない。  
体を毛布などで覆い、保温する。  
直ちに医師の診断／手当てを受けること。  
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。  
物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。
- 皮膚に付着した場合：  
火気または着火源による燃焼のリスクに注意すること。  
直ちに汚染された服と靴を取り除く／脱ぐ。  
多量の水と石けん（鹼）で優しく洗うこと。  
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合：  
眼を擦ってはならない。  
まぶたを開いた状態に保つ。  
できるだけ早く水で洗い始め、数分間注意深く洗う。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：  
口を水で十分にゆすぎ、意識を失っていない場合は多量の牛乳または水を飲ませる。  
被災者の意識がない時は何も飲ませてはならない。  
被災者を空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
体を毛布などで覆い、保温する。  
直ちに医師の診断／手当てを受けること。  
吐かせないこと。  
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。  
呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。  
呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行う。  
物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。
- 応急処置をする者の保護：  
本製品が発がん物質／変異原性物質／生殖毒性物質を含むことに注意する。  
口対口法を用いてはならない；逆流防止バルブのついたポケットマスクや他の適切な医療用呼吸器を用いて人工呼吸を行う。  
救助者は、救助の最中、自身の危険にも注意する。  
指定された個人用保護具を使用すること。
- 医師に対する特別注意事項：  
中毒時の治療方法として、硫酸アトロピン及びブラリドキシムヨウ化メチル（PAM）の使用が推奨される。  
急性中毒の際の痙攣症状に対する対症療法としてフェノバルビタールの投与が有効である。  
皮膚の感覚異常に対する処置として、ビタミンEが効果があるとの報告がある。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤： 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂  
使ってはならない消火剤： 棒状水  
火災時の特有の危険有害性： 引火性が高い。  
接触により、皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。  
眼の炎症や催涙のおそれがある。  
咳、呼吸困難、および吐き気を引き起こすことがある。  
接触や吸入の効果は遅れて現れるおそれがある。  
熱、機械火花、静電気火花、裸火などの着火源で容易に着火するおそれがある。  
蒸気は空気と爆発性混合気を形成するおそれがある。  
蒸気が着火源まで達し、フラッシュバックするおそれがある。  
屋内、屋外または下水溝の中で爆発のおそれがある。



<p>加熱により容器が爆発するおそれがある。 混触危険物質と接触すると火災や爆発の危険性がある。 加熱や火災に巻き込まれると分解して、有害なガス（「10. 安定性及び反応性」参照）やヒュームを発生するおそれがある。 大規模火災では場合によって、火災区域から避難し、そのまま燃焼させる。 漏出物や消火水は水系汚染のおそれがある。</p>	<p>特有の消火方法：</p> <p>大規模火災あるいはタンク火災の場合には、消火や有効に行える最も遠い距離から、モニター付ノズル等を活用し無人化を図る。</p> <p>火災発生場所周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。 もし可能であれば、熱にさらされた容器を移動するか、または水で冷却する。 消火に用いた水は堰を作って囲い、後で廃棄する。物質がちらばらないようにする。 液化ガスからの蒸気は、空気よりも重く、地表に沿って拡がる。 消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 火災をとめられない場合は、火災の拡大・類焼を防止するために噴霧散水により冷却しながら燃焼させたままにする。</p>
<p>消火を行う者の保護：</p>	<p>適切な全身保護衣および空気式呼吸器（SCBA）を着用する。 適切な全身保護衣であっても、熱および有害な蒸気や液体に対し限られた防衛しかできない点に留意して消火活動を行うこと。</p>

**6. 漏出時の措置**

<p>人体に対する注意事項：</p>	<p>作業時に保護具を着用すること。 作業時に使用する個人用保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照。 火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護具を着用する。 全ての方向に適切な距離をとり、漏出区域への立ち入りを禁止する。 適切な換気を行う。 風上から作業する。 流出物質に触ったり、踏んだりしない。 適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 取扱後は顔と手をよく洗うこと。</p>
<p>保護具及び緊急措置：</p>	<p>防災活動に無関係な全ての人々を風上側に遠ざける。 専門家に相談する。 周辺の居住者に警告する。 水路では航行を遮断する。 大きな安全地帯を設定する。 蒸気抑制泡を蒸気濃度を低下させるために用いる。</p>
<p>環境に対する注意事項：</p>	<p>漏出物および漏出物処理時の廃液が、排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所へ流入するのを防ぐ。 環境への放出を避けること。 漏出物を回収すること。</p>
<p>封じ込め及び浄化方法：</p>	<p>全ての着火源（熱／火花／裸火／高温表面／静電気放電、等）を取り除く。 防爆型の電気設備および照明設備を用いる。 危険でなければ漏れを止める。 漏出した液を密閉式の容器にできる限り集める。 残留液を乾燥した土、砂や不燃性材料で吸収させ、安全な場所に移す。 吸収したものを集めるとき、清浄な火花防止型の道具を用いる。</p>



二次災害の防止策： 大量の場合、広がらないように堰を作り、後で廃棄する。  
 廃棄方法は「13. 廃棄上の注意」を参照。  
 全ての着火源（熱／火花／裸火／高温表面／静電気放電、等）を取り除く。  
 清浄な火花防止型の道具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： （妊娠中）の女性へのばく露を避ける。  
 全ての着火源を取り除く。  
 密閉系で取り扱う。  
 防爆型の電気機器／換気装置／照明設備／装置を使用すること。  
 火花を発生させない工具を使用すること。  
 ミストの発生を防止する。  
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
 屋外での取扱いはできるだけ風上から行う。  
 取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。  
 加熱、摩擦、衝撃を与えない。  
 眼、皮膚、衣類への接触を避ける。  
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。

局所排気・全体換気： 局所排気、全体換気を行う。（「8. ばく露防止及び保護措置」参照）

安全取扱い注意事項： 設備対策を行い、保護具を着用する。（「8. ばく露防止及び保護措置」参照）  
 使用前に取扱説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

衛生対策： 蒸気、ミストを発生させないこと。  
 吸入しない。  
 作業中は飲食、喫煙をしない。  
 製品の取扱い後および飲食の前にはよく手や顔を洗淨する。  
 皮膚および眼との接触を避けること。  
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管

保管条件： 熱／火花／裸火／高温表面のような着火源から遠ざけること。一禁煙  
 容器を密閉する。静電気放電に対する予防措置を講ずる。  
 容器を接地すること／アースをとること。  
 適切な方法で全体をよく換気する。  
 直射日光を避ける。  
 耐火設備を備えた場所に保管する。  
 消火の際の流出物を收容するための用意をする。  
 混触危険物質から離して保管する。（「10. 安全性及び反応性」を参照）  
 食料や飼料から離して保管する。  
 排水管や下水管へのアクセスのない場所で貯蔵する。  
 施錠して保管すること。  
 乾燥した場所に保管すること。

容器包装材料： 情報なし。



**8. ばく露防止及び保護措置**

- 設備対策：** 局所排気および／または全体換気設備を使用する。  
 取扱場所に、洗顔設備や手や全身の洗浄設備を設ける。  
 静電気対策（アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用、等）を講じる。  
 高温下での取扱いでミストが発生する場合は、換気装置を設置する。
- 管理濃度：** エチルベンゼン、シクロヘキサノン、トルエン TWA 20ppm、キシレン TWA 50ppm（安衛法）
- 許容濃度：**
- |          |       |                                       |
|----------|-------|---------------------------------------|
| エチルベンゼン  | OEL-M | 50ppm、217mg/m <sup>3</sup> （日本産業衛生学会） |
|          | TWA   | 20ppm（ACGIH）                          |
| キシレン     | OEL-M | 50ppm、217mg/m <sup>3</sup> （日本産業衛生学会） |
|          | TWA   | 100ppm、STEL 150ppm（ACGIH）             |
| シクロヘキサノン | OEL-M | 25ppm、100mg/m <sup>3</sup> （日本産業衛生学会） |
|          | TWA   | 20ppm、STEL 50ppm（ACGIH）               |
| トルエン     | OEL-M | 50ppm、188mg/m <sup>3</sup> （日本産業衛生学会） |
|          | TWA   | 20ppm（ACGIH）                          |
- 保護具：**
- 呼吸器の保護具 呼吸用保護具は、必ず規格に合致したものを使用する。  
換気設備の機能の低下等の緊急時および漏出時の措置では、空気呼吸器あるいは循環式酸素呼吸器（SCBA）を着用する。
  - 手の保護具 手の保護具は、必ず規格に合致したものを使用する。  
不浸透性保護手袋、耐薬品性保護手袋。
  - 眼の保護具 眼の保護具は、必ず規格に合致したものを使用する。  
安全ゴーグルまたは保護眼鏡付き防災面。
  - 皮膚及び身体の保護具 個人用保護具（PPE）は、必ず規格に合致したものを使用する。  
帽子、靴等を含む適切な不浸透性保護衣を着用する。  
作業服および作業靴は静電気帯電防止のものを使用する。

**9. 物理的及び化学的性質**

- 外観： 淡黄褐色油（状）
- 臭い： データなし
- pH： 3～7（20% 分散液、20℃）
- 融点・凝固点： データなし
- 沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし
- 引火点： 30℃
- 燃焼又は爆発範囲： データなし
- 蒸気圧： データなし
- 比重： 0.98～1.01（20℃）
- 溶解度： データなし（水）、データなし（溶媒）
- n-オクタノール／水分配係数： データなし
- 自然発火温度： データなし
- 分解温度： データなし

**10. 安定性及び反応性**

- 安定性： 容易に気化する。



危険有害反応可能性： 空気と爆発性混合気を形成する。  
強酸化剤、強酸、強塩基：火災や爆発の危険。

避けるべき条件： 裸火、火花、熱、高温表面、静電気放電などのような着火源、混触危険物資、加熱

混触危険物質： 強酸化剤、強酸、強塩基。

危険有害な分解生成物： 一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素、硫黄酸化物、窒素酸化物、シアン化水素、塩化水素、塩素化物、リン酸化物、アンモニア、すす

11. 有害性情報

製品のデータがない場合は類似製品／成分のデータを記載しています。

急性毒性： 経口 LD<sub>50</sub> 217mg/kg (ラット) 【類似処方品】  
経皮 LD<sub>50</sub> >5,000mg/kg (ラット) 【類似処方品】  
吸入 蒸気：  
ATEmix 3,616ppm  
LD<sub>50</sub> (4Hr) 29.08mg/L (ラット) 【キシレン】  
LC<sub>50</sub> (4Hr) 4,327ppm (ラット) 【キシレン】  
LC<sub>50</sub> (4Hr) 9.8mg/L, 2,450ppm (ラット) 【シクロヘキサノン】  
粉じん／ミスト：  
LC<sub>50</sub> >900mg/m<sup>3</sup> (ラット) 【ジメトエート】  
LC<sub>50</sub> (4Hr) 2,810~4,660mg/m<sup>3</sup> (ラット) 【フェンバレレート】  
LC<sub>50</sub> 32.1mg/L, 8,000ppm (ラット) 【シクロヘキサノン】

皮膚腐食性・刺激性： データなし  
刺激性なし (ウサギ) 【ジメトエート、フェンバレレート】  
刺激性あり (ウサギ) 【キシレン、シクロヘキサノン】

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： データなし  
刺激性なし (ウサギ) 【フェンバレレート】  
軽度の刺激性あり 【ジメトエート】  
中等度の刺激性あり (ヒト) 【キシレン】  
刺激性あり (ウサギ) 【シクロヘキサノン】

呼吸器感作性又は皮膚感作性： データなし  
皮膚感作性  
軽度の感作性あり (モルモット、マキシマイゼーション法) 【ジメトエート】  
感作性あり (モルモット、マキシマイゼーション法) 【フェンバレレート】  
感作性あり 【シクロヘキサノン】

生殖細胞変異原性： *in vitro* データなし  
Ames 試験 (ネズミチフス菌および大腸菌)  
陽性 【ジメトエート】  
陰性 【フェンバレレート、シクロヘキサノン\*】 \*ネズミチフス菌試験のみ  
染色体異常試験 (チャイニーズハムスター細胞)  
陽性 【ジメトエート】  
陰性 【フェンバレレート、シクロヘキサノン\*】 \*試験法不明  
遺伝子突然変異試験  
陰性 (チャイニーズハムスター細胞) 【ジメトエート】  
陰性 (マウスリンフォーマ) 【シクロヘキサノン】  
遺伝子修復試験 (枯草菌)  
陰性 【ジメトエート、フェンバレレート】  
不定期 DNA 合成試験 (肝細胞)





		陰性【フェンバレレート】
	<i>in vivo</i>	データなし
	小核試験（マウス、経口、骨髄）	陰性【ジメトエート、フェンバレレート】
	優性致死試験（マウス、経口）	陰性【ジメトエート】
	優性致死試験（マウス、吸入）	陰性【シクロヘキサノン】
	染色体異常試験（ハムスター、経口、骨髄）	陰性【フェンバレレート】
	染色体異常試験（ラット、皮下、骨髄）	陽性【シクロヘキサノン】
	染色体異常試験（ラット、吸入、骨髄）	陰性【シクロヘキサノン】
発がん性：	データなし	
	ラット発がん性試験	なし（混餌）【ジメトエート、フェンバレレート】 あり／腎臓（吸入）【エチルベンゼン】
	マウス発がん性試験	なし（混餌）【ジメトエート、フェンバレレート】 あり／肝臓、肺（吸入）【エチルベンゼン】
	エチルベンゼンに関する専門家判断	
	日本産業衛生学会：2B（ヒトに対して恐らく発がん性があると考えられる物質（証拠が比較的十分でない））	
	ACGIH：A3（実験動物で発がん性が認められているが、ヒトとの関連は不明）	
	IARC：2B（ヒトに対して発がん性があるかもしれない）	
	EPA：D（ヒト発がん性に分類できない物質[1986 Guidelines]）	
生殖毒性：	繁殖性：データなし	
	繁殖毒性試験（マウス、混餌）	繁殖性に影響なし【ジメトエート】
	繁殖毒性試験（ラット、混餌）	繁殖性に影響なし【フェンバレレート】
	2世代繁殖毒性試験（ラット、混餌）	繁殖性に影響なし【ジメトエート】
	催奇形性：データなし	
	催奇形性試験（ラット、混餌）	催奇形性なし【ジメトエート】
	催奇形性試験（ウサギ、混餌）	催奇形性なし【ジメトエート】
	催奇形性試験（マウス、経口）	催奇形性なし【フェンバレレート】
	催奇形性試験（ウサギ、経口）	催奇形性なし【フェンバレレート】
	生殖発生毒性試験（マウス）	出生児に対する影響あり【キシレン】
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：	ラット（経口）	神経系
	ラット（経皮）	特定標的臓器は認められない。
	マウス（吸入）	呼吸器系【シクロヘキサノン】
	ラット（吸入）	神経系【ジメトエート、フェンバレレート】 呼吸器系、肝臓、中枢神経系、腎臓、麻酔作用【キシレン】
	モルモット（吸入）	麻酔作用【シクロヘキサノン】
	ヒト（吸入）	呼吸器系、肝臓、中枢神経系、腎臓、麻酔作用【キシレン】 呼吸器系（ボランティア試験）【シクロヘキサノン】
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：	データなし	
	慢性毒性試験（1年間、混餌）	肝臓、リンパ系（マウス）【フェンバレレート】
	慢性毒性試験（18ヶ月、混餌）	血液（マウス）【ジメトエート】
	慢性毒性試験（2年間、混餌）	リンパ系（マウス）【フェンバレレート】 リンパ系、副腎、肝臓、脾臓（ラット）【フェンバレレート】
	ヒト	呼吸器系、神経系【キシレン】 中枢神経系、骨（疫学情報、吸入）【シクロヘキサノン】



吸引性呼吸器有害性： データなし

12. 環境影響情報

製品のデータがない場合は類似製品／成分のデータを記載しています。

生態毒性：	急性毒性		
	コイ	LC <sub>50</sub> (96Hr)	47.1 μg/L >10mg/L 【ジメトエート】 55 μg/L 【フェンバレレート】
	オオミジンコ	EC <sub>50</sub> (48Hr)	データなし 2.0 mg/L 【ジメトエート】 0.049 μg/L 【フェンバレレート】
	緑藻	ErC <sub>50</sub> (24-72Hr)	260mg/L
	慢性毒性		
	緑藻	NOEC r (24-72Hr)	2.2mg/L
	その他	データなし	蚕、ミツバチに長期間の強い毒性がある。【フェンバレレート】
残留性・分解性：	データなし		
生体蓄積性：	データなし		
土壤中の移動性：	データなし		
オゾン層への有害性：	UNEP-オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書のためのハンドブックに掲載なし。		

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物・容器及び包装： 国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って、内容物／容器を適切に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	陸上規制情報：	国連番号	UN3017
		正式輸送品目名	有機リン系殺虫剤類、液体、毒性、引火性 (ジメトエート・フェンバレレート・キシレン混合物)
		国連分類	6.1
		副次危険性	3
		容器等級	III
海上規制情報：	国連番号	UN3017	
	正式輸送品目名	有機リン系殺虫剤類、液体、毒性、引火性 (ジメトエート・フェンバレレート・キシレン混合物)	
	国連分類	6.1	
	副次危険性	3	
	容器等級	III	
	ラベル	6.1 (3)	
	EmS コード	F-E、S-D	
	海洋汚染物質	該当	



航空規制情報：	国連番号	UN3017
	正式輸送品目名	有機リン系殺虫剤類、液体、毒性、引火性 (ジメトエート・フェンバレレート・キシレン混合物)
	国連分類	6.1
	副次危険性	3
	容器等級	Ⅲ
	ラベル	6.1 (3)
	梱包指示 (貨物機)	663
	梱包指示 (旅客機)	655
特別の安全対策：	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。 車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。	
国内規制：	国内法に従う。	

**15. 適用法令**

農薬取締法：	第 22630 号	
労働安全衛生法：	名称等を通知・表示すべき有害物 (法第 57 条) エチルベンゼン (政令番号 第 70 号)、キシレン (政令番号 第 136 号)、シクロヘキサノン (政令番号 第 231 号)、トルエン (政令番号 第 407 号) 特定化学物質障害予防規則 エチルベンゼン 有機溶剤中毒予防規則 第 2 種有機溶剤等 労働安全衛生法施行令-別表第一 (危険物) 引火性の物	
消防法：	第四類 引火性液体、第 2 石油類、非水溶性液体	
毒物および劇物取締法：	劇物 ジメチル- <i>N</i> -メチルカルバミルメチル)-ジチオホスフェイト (ジメトエート) を含有する製剤 有機シアン化合物及びこれを含有する製剤	
化学物質管理促進法：	第 1 種指定化学物質 ジチオリン酸 <i>O</i> - <i>O</i> -ジメチル- <i>S</i> -[ <i>N</i> -メチルカルバモイル] メチル] (ジメトエート) (政令番号 第 198 号)、エチルベンゼン (政令番号 第 53 号)、キシレン (政令番号 第 80 号)、ポリ (オキシエチレン) =ノニルフェニルエーテル (政令番号 第 410 号)	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律：	特別管理産業廃棄物	
水質汚濁防止法：	指定物質 (法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3)	キシレン、トルエン
	有害物質 (法第 2 条、施行令第 2 条、排水基準を定める省令第 1 条)	シアン化合物
下水道法：	水質基準物質 (法第 12 条の 2 第 2 項、施行令第 9 条の 4)	シアン化合物
土壌汚染対策法：	特定有害物質 (法第 2 条第 1 項、施行令第 1 条)	シアン化合物

**16. その他の情報**

記載内容の問合せ先：	ホクサン株式会社 営業部 業務課 〒061-1111 北海道北広島市北の里 27 番地 4 TEL 011-370-2333	
引用文献：	ベジホン乳剤 安全データシート (住友化学株式会社、2016 年 7 月 25 日)	
免責条項：	記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂される場合があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものであって、特別な取扱いをする場合は用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。	